
軽姫

稲一喜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

軽姫

【Nコード】

N0720Z

【作者名】

稲一喜

【あらすじ】

高校生健人と不良巫女紅奈の毎日をつづるハートフルストーリー

プロローグ 女の名

縁側に腰を下ろし佇む一人の娘がいる。

時折足をぶらつかせる仕草は年相応の幼さを見せるが、その瞳は痛々しいほどに冷めまだ十六にも満たない娘のものでは無かった。

娘は何をするでもなく、出された茶にも手をつけずに、庭にいる小鳥をぼんやりと見つめていた。

どれほど時間が過ぎただろうか。

茶はとつくに冷え切り、小鳥も夕闇へと消えていった。

そんな時、ふすまが開き娘を呼ぶ声が聞こえた。

「^{くれな}紅奈様、準備が整いました」

「……わかったわ。すぐに向かうわ」

娘は中へ入り鏡の前で身を整え、従者を連れ「会場」へと向かう。重苦しい静寂が辺りを包み、両者口を開かなかった。

足音が響き、どこからか小鳥の鳴き声が聞こえたが、薄暗い廊下へと消えていった。

中から声と光が漏れ出す部屋が一つ。

二つの足音が止まる。

従者は娘の様子を伺う。

目の前のふすま、これを開ければ中は「会場」だ。

娘の仕草におかしな点は無いか、もしくは緊張して取り乱すようなことは無いか。

そんな考えを抱き従者は娘の顔をチラリと覗いた。

だが、娘の「顔」を見ることはかなわなかった。

目が合ったのだ。

娘と。

ただそれだけのことだが、従者はまるで見てはいけないものを見てしまったかのように目をそらした。

娘にはおかしな点も緊張もなかった。

強いて言えば、その齡には不釣り合いなほどに冷え切った瞳が二つあった。

それが、魔物のようにおそろしく感じた。

「……どうしたの。早くふすまを開けて」

「も、申しわけありません」

従者はその声に促されるように自分の務めを果たす。

「失礼いたします」

そう声をかけ、ふすまを開け中を見回す。

スーツや着物を着こなし自分を見つめる老人たちの姿がそこにはあった。

いや、一人だけ青年がいた。

一番の上座に座り岩のような落ち着き払っている。

その青年が静かに口を開いた。

「……彼女は来たか」

「はい。今はふすまの前で控えております」

「そうか。秋の夜は冷えるだろう。早く中に入れてあげなさい」

「かしこまりました」

一礼をして部屋から退出しふすまの前にいる娘に声をかける。

「紅奈様」

「はあ、やっと出番ね」

「さようございます」

「ねえ、中ってやっぱり老人ばかりだった?」

「……紅奈様、気をお引き締めください。これから始まるのは」

「……そのくらいわかっているわ。」

「……………」

「……………」

従者として何か言うべきだったのだろう。

だが、話した事はただの確認事項だけだった。

「失礼いたします」

従者が再びふすまを開ける。

今度は主をたずさえて。

ふすまを閉め、一札をすると入り口から一番近い席に腰を下ろす。

従者の役目はこれで終わり。

ここから先は娘の役目だ。

娘は部屋の真ん中へと移動すると正座をして手を畳につけ、深々と頭を下げた。

数秒の後、彼女は頭を上げ口を開く。

「お初にお目にかかります」

誰も口を挟む者はいない。

娘の口上を静かに聴いている。

「かんなぎ巫家当主 巫紅奈と申します」

娘の名は巫紅奈

齢十五にして旧家、巫の当主の当主

そして

女の名は紅奈

巫の当主にして巫の名を捨てる者

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0720z/>

軽姫

2011年12月2日20時57分発行